

JVMA通信

No.5 (平成24年7月号)

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



No.5 (平成24年7月号) 目次

総会、各種セミナー報告

- ・第33回通常総会 1
- ・「JV賞」受賞報告 (アズビル株 奥津良之氏) 2
- ・若手社員研修会 4
- ・国際委員会セミナー 4
- ・BCP(事業継続計画)推進セミナー 4
- ・IEC61987 シーズ /LOPs(List of Properties)説明会 4

当会の広報活動について

- ・各種展示会報告 (彦根 YEG わーくメッセ / つばエキスポセンター / 風月堂(和菓子店)の紹介) 6

会員企業トピックス!

- ・日本機械学会の「機械遺産」に TOTO株の「ウォシュレットG」 6

関係官庁・団体からのお知らせ

- ・平成24年度国際標準推進戦略シンポジウムのご案内 ..5
- ・中小企業向け資金調達の指針「知ればナック!」 5
- ・第50回素形材産業優良従業員表彰募集案内 5

工業会活動報告

(平成24年5月～平成24年7月) 7

会員の動向

..... 11

総会、各種セミナー報告

第33回通常総会

開催日時/場所: 平成24年5月15日(火) 14:00～15:30 / 東京・銀行倶楽部

出席者数: 85名(来賓:10名、会員:75名)

去る5月15日(火)、東京・銀行倶楽部において「第33回通常総会」が開催された。

総会では、平成23年度事業報告・決算報告並びに平成24年度事業計画・収支予算が原案どおり承認され、併せて一般社団法人への移行(来年4月予定)に伴う「定款改正」、バルブ産業ビジョン第2期計画アクションプランとして掲げた「企業行動憲章」についてもそれぞれ承認された。また、本年度は、役員改選期であり、理事:36名、監事:3名、顧問:2名の選任については、原案どおり承認された。

なお、就任した会長・副会長・専務理事は次のとおり。

- 会 長: 田淵宏政 (株)タブチ 代表取締役社長 [再]
- 副 会 長: 中村善典 (金子産業株) 代表取締役社長 [再]
- ” : 末松正幸 (株)KVK 代表取締役社長 [新]
- ” : 中川 哲 (株)昭和バルブ製作所
代表取締役社長 [新]
- ” : 中村政弘 (オーエヌ工業株) 代表取締役社長 [新]
- 専務理事: 比企 諭 [再]

[再]:再任 [新]:新任

役員任期は法人移行完了時まで



総会出席者の集合写真

◎総会記念講演会（平成24年5月15日(火) 15:30～17:00 於：銀行倶楽部）

テーマ：「日本のものづくりはグローバル新時代に勝ち残れるか」

講師：吉川 良三 氏

東京大学大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員、
日韓 IT 経営協会 会長（元・サムスン電子 常務取締役）



今年の総会記念講演会では、日韓 IT 経営協会 会長であり、元・サムスン電子 常務取締役の吉川氏を講師としてお招きし講演会を開催。危機意識(いつも 10 年先を読む習慣)を持ち、「顧客の顧客」の要求を聞くなど、今後の日本企業復活のヒントとなる講演であった。

■JV賞受賞報告

～ 平成23年度JV賞受賞者に 奥津 良之 氏(アズビル株) ～

5月15日(火) 銀行倶楽部において開催された第33回通常総会終了後、引き続き、「平成23年度JV賞」受賞者の報告が行われ、受賞者として、奥津良之 氏（アズビル株）AAC 営業本部営業技術部 FS1 シニアマネージャ／主管技師)に記念トロフィーと賞金目録が授与された。

奥津氏は、長年にわたり当会における部会・委員会活動の活性化に多大な貢献をされたとともに、製品技術水準を引き上げ、バルブ規格の国際標準化の普及・推進に尽力されたことが高く評価された。

(総会当日、奥津氏は海外出張中で不在のため、同社・取締役執行役員常務 河合 真 氏が代理で田淵会長よりJV賞記念トロフィーと賞金目録を受け取られた。)

*** JV賞 ***
JV賞は昭和63年に設けられた賞で、本会に寄せられた寄付金を基金として、その運用益により、毎年1名を受賞者として表彰している。本会関係者を対象に、各部会、委員会、支部からの推薦による候補者を募集し、本会及び業界発展に大きく貢献された方に対し、賞状(又は記念トロフィー)と賞金20万円を、毎年5月の通常総会の場において授与。



当会事務所でJV賞目録を手にする 奥津氏

■■■ JV賞を受賞して ■■■
たかがバルブ されどバルブ やはりバルブ

アズビル株 奥津 良之

この度は栄光のJV賞(日本バルブ賞)を戴き感謝申し上げます。ひとえに工業会先学諸先輩のご指導賜りました御蔭様と、身の引き締まる思いで拝受させて頂きました。

僭越ですが、少し自分の過去を振り返ってみたいと思います。

大学2年生の頃に調節弁を知りました。配属された流体工学研究室の大田英輔教授(現在 早大名誉教授)が主査を務められ、早大理工と山武ハネウエル(現在のアズビル)および荏原製作所との共同研究「管内高速流に関する総合研究」を大規模に進めて居られ、私もその研究メンバーに加えて戴いたのが始まりです。1976年の事です。私は30気圧の乾燥空気を貯気槽(8 m³)に貯め自動制御装置を駆使して集合胴(Collecting Chamber)の全圧と全温度の設定と維持を行いながら、テスト管路(76mm口径 x 4 m)に間欠的に高速空気を供給するブローダウン式超音速風洞実験設備を担当しました。最初の研究対象はケージ形調節弁およびコンタド形調節弁の内部流動で、それらの超音速流れの構造・振動と騒音の発生機構などを詳細に研究し続けました。大々先輩の町山忠弘教授(故人)にも研究全般に亘り熱くご指導を受けました。とくに研究姿勢について町山先生は「奥津君、農民は米を作っていると思うか?違う。そうではないよ、田を作っているのだ。良い田を作るから良い米が出来るのだ。実験研究も同じで、きちんと実験装置から熟慮しながら自分で作りなさい。良いデータはそこから自然に生まれるものだ。」との教えを徹底され、私たちは実験準備と作業にも多くの時間と精力を使って来た気が致します。さらにその数倍の精力を掛けて、正に身を粉にして解析と理論化作業を進めました。このように得られた精密で再現性の高い実験データと相似則は「工業プロセス用調節弁に関する国際規格 IEC 60534 シリーズ」の根拠ともなり、現在、私が委員および議長として務める 国際電気標準会議 IEC/TC65/SC65B/WG9 および JWG17 での議論もこのときの経験が基礎となっています。

30才直前に機会があり、大学教員を辞し早大客員研究員を継続しながら実業の現場である山武ハネウエルに移り調節弁の研究開発に没頭しました。石油化学プラント用標準弁の性能向上/研究開発を始めとして電力市場用シビア弁・石油精製市場用複座弁・石炭液化プラント用耐アブレーション弁等々多くの新製品を開発させていただく機会に恵まれました。また配管屈曲モード解析・壊食/摩食寿命解析・二相流解析・下流配管と弁の流体関連振動/連成現象解析・噴流部のBi-stable流れ現象解析、対向噴流および噴流衝撃波と渦の干渉解析、あるいは凝縮振動等々 従来の業界難問のいくつかを実験的/理論的に説明できた事も良い思い出です。発電所やLNG基地での調節弁不適合事例の解析成功例も複数個貯まり、まとまった成果をそれぞれ学術論文として各学会に報告することもできました。これら一連の製品と技術成果は各学会からも評価され、また多くのお客様からも、さらに国内外競合各社からも高い評価を伝え聞くに至りました。

僥越ながら「技術の山武」「調節弁の山武」の名声確立に部下とも1つになって貢献できた素晴らしい時代であったと回顧しています。一企業を介して結果的に、バルブ業界全体の技術水準引き上げに、ある程度は貢献できたものと密かに自負しております。

ただ2001年に企業組織構造が改変され、紆余曲折を経て私は「全社技術者教育」を担当することになりました。鋭意、教育システム構築作業を進める一方で、大学の客員研究員である立場やSICE/JSME/ASME/GTSJなど学会正員である立場を活用/工夫して一層、社会のために・人類のために「調節弁の研究と体系化」を心掛けるようになりました。さらに日本バルブ工業会との素晴らしい出会いがこの時期だったと思います。

日本バルブ工業会では、最初はIEC国内委員会に所属し、竹中俊夫委員長（当時、東工大名誉教授）逸見憲昭幹事（当時、ニイガタ・メーソンネーラン）はじめ多くの諸先輩方に詳細に国際規格はどうあるべきか熱心な議論と共に、熱くご指導いただきました。1995年にWTO/TBT協定が発効し、各国強制規格や製品適合性評価はISO/IEC国際規格を基礎とすることが加盟国に義務づけられました。その後2001年中国のWTO加盟もあり、グローバル化した現在のように産業と貿易が国際規格に完全に統制され、まさに国際戦略はEUのみならず米国や中国・韓国・日本を主舞台にした国際標準活動によるドメイン作り・壮絶な陣取り合戦に至ったことは、当時の私たちの議論と予測を大幅に超えていたのかも知れません。現在IEC/TC65/SC65B/JWG17のConvener（議長）として調節弁に関するLOPs(List Of Propertiesの電子データ化標準規格)を各国代表と進めています。日本バルブ工業会IEC国内委員会で15年以上に亘り実際の各社技術者と議論を積み重ねた結果を最大限に生かして、国益を鑑みつつ国際審議に臨んで居ります。なお、IEC国内委員会同一メンバーとユーザ代表委員とともに国際規格IEC 60534シリーズをその技術的内容を変更することなく（IDT）翻訳したJIS B2005シリーズ18本を順次制定致しました。現在は大田英輔委員長を中心に私が幹事となってMaintenance（維持）作業を鋭意進めさせていただいております。一層皆様の篤いご協力を賜りたいと希望している次第です。

自動弁部会では既に10年以上に亘りお世話になっております。部会から技術委員会・技報編集委員会・バルブ産業ビジョン策定委員会・バルブ便覧編集委員会・広報委員会等々に派遣していただき、多くの会員の皆さまと交流させて戴きました。とくにそれぞれの新旧委員長には非力な私に叱咤激励を戴きながら、丁寧に議論をお誘いくださり心より感謝致しております。あわせて実践的視野も顕著に広げることが出来ました。なお、横山巖 前自動弁部会長（東工・バレックス会長）様には部会活動を通してとくに熱く御指導戴きました。ここに特記致しまして深く感謝の意を表します。

ここ数年は講演を頼まれることが多くなりました。学会でも産業界でも私の講演主題は「なぜバルブは重要か？」です。自然界・産業界はフィードバック機構が働いて成り立っています。因果応報と諸行無常の繰り返しです。昨今とくに産業界での大規模不適合をテレビや新聞で見聞します。海底油田掘削プラント・発電所・ロケット推進機構・化学コンビナート等々あらゆる産業を「バルブ」はKEYテクノロジーとして支えています。しかし、その議論の中で果たしてどのくらいの多くの技術者が「バルブ」について正しく認識しているのか、多数配備されるバルブのひとつひとつの重要度を正確に意識していたのか疑問になるところがあります。「バルブ」は過酷な現場にあって最終操作端（Final Control Elements）となって稼働し続ける宿命を持ちます。一方、社会では各種の「信用が収縮」し至（いびつ）な「コスト至上主義」がなお蔓延（はびこ）る昨今でもあり技術力が軽視され疲労は進み品質が低下する危険な状態が迫っています。たかがバルブといわれる顧客も実際にいらっやいます。されどバルブは確定的に重要な操作端です。バルブ無しにプラントの適正運転・危機回避プログラムは有り得ません。やはりバルブの技術力を一層高めるべきなのです。他の機器との連成を意識しながら動作の信頼性を一層引き上げるべきです。そして社会基盤インフラは堅牢な技術で支えるべきなのです。2年前に公募し広報委員会で選考決定されたJVMAイメージキャラクター「ばるちゃん」には社会を支えるべきバルブ産業人の使命と人類社会安泰への願いが込められているはずです。

従来「陰徳の美学を貫くバルブ技術者」であってもこの時代は機会をとらえて技術者が社会・産業界を積極的に教育してゆくことが重要と考えています。私は引き続き、社会に対して何がしかの貢献をしていく所存です。皆様どうぞよろしくご指導くださるよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが日本バルブ工業会会員皆様のご健康とご繁栄を祈念致しまして、受賞に際してのご挨拶とさせていただきます。

セミナー報告

若手社員研修会 (平成24年7月5日(木)・6日(金) 於:東京・機械振興会館)

毎年恒例の会員企業若手社員を対象とした、ルブの基礎知識を授ける研修会を開催。研修会では、当会バルブ・自動弁・水栓の各部会および技術委員会、環境WGなどから講師を派遣し、バルブの製品と関連技術、市場、現状等について講義いただいた。
(前期2日間の日程は終了済:参加者:37名)



7/5の研修会の様子

開催日/場所: (前期) 平成24年7月5日(木)～6日(金) / 機械振興会館
(後期の予定) 平成24年8月2日(木)～3日(金) / 機械振興会館
8/2午後は、「芝浦水再生センター」を見学予定

[カリキュラム]

- 7/5(木): バルブ産業ビジョン/ 環境セミナー/ バルブの市場
- 7/6(金): バルブの基本/ 一般弁の種類・構造/ 給水栓・ボールタップの種類・構造・特徴/ 給水装置と給水用具
- 8/2(木): 国際標準化の現状と動向 (ISO, IEC について) / 午後: 芝浦水再生センター見学
- 8/3(金): 自動弁の種類と構造 (安全弁, スチームトラップ, 自動調整弁, 電磁弁, 調節弁)

国際委員会セミナー : 「文化の違いからくる日本と中国のビジネスの考え方」及び「インドの経済動向」

(平成24年7月12日(木) 於:東京・機械振興会館) - 主催:国際委員会 -

著しい経済成長を成し遂げ、経済大国となった「中国」、および中国に追随して経済成長を続ける「インド」について取り上げ、平成24年度第1回目の国際委員会セミナーを開催した。



- テーマ: 「文化の違いからくる日本と中国のビジネスの考え方」
- 講師: 萬里紅氏 (富礼徳(上海)礼儀服務有限公司 薫事長)
- テーマ: 「インドの経済状況とビジネス環境」
- 講師: 河野敬氏 (独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO) 海外調査部 アジア大洋州課)
- 参加者: 27名

BCP(事業継続計画)推進セミナー : 「人命を守る、会社を守る」

(平成24年7月13日(金) 於:東京・機械振興会館) - 主催:ビジョン委員会 -

災害等の発生時、速やかに事業活動を再開するため不可欠となる「BCP(事業継続計画)」について、策定の基本から、さまざまな企業の事例紹介を交えたセミナーを開催した。



- テーマ: 「人命を守る、会社を守る」
- 講師: 副島一也氏 (ニュートン・コンサルティング(株) 代表取締役社長)
- 参加者: 15名

IEC 61987 シリーズ / LOPs(List of Properties)に関する説明会

(平成24年7月17日(火) 於:東京・機械振興会館) - 主催:IEC委員会 -

IEC(国際電気標準会議)が進めている「LOPs(List of Properties): 電子電気機器の製品仕様および機器の部品使用を記述するためのデータの規格化(データベース化、電子辞書化)」に関する説明会を開催した。



- テーマ: IEC/LOPs(List of Properties)について (説明)
製造メーカーとしての対応のしかた
- 講師: 山崎洋氏 (アズビル(株) アドバンスオートメーションカンパニー)
IEC/TC65 諮問委員会 SG101 幹事、IEC/SC65E/WG2 国内委員会 幹事
- 参加者: 21名

関連省庁・団体からのお知らせ

平成24年度 国際標準推進戦略シンポジウムのご案内【独立行政法人 産業技術総合研究所】
日本を元気にする産業技術会議 ～ 新技術の認証を視野に入れた標準化推進 ～

欧米の認証機関では、将来有望な領域に関してはいち早く認証し、社会への適合性評価を速やかに実施している。我が国においても、国際標準に関する重要な視点として掲げられる「認証」に対しては積極的に取り組む必要があり、大きな課題でもある。本シンポジウムでは、新技術の認証における我が国の課題を整理、共有し、産学官がそれぞれの立場でどう取り組みを強化すれば良いのか、事例を交えて、今後の方向性を議論する。

新技術の認証を視野に入れた標準化推進
 開催日時：平成24年8月22日(水) 13:00～17:30
 開催場所：イノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1）
 定員：500名
 参加費：シンポジウム：無料 / 意見交換会：2,000円
 申込締切：平成24年8月5日(日)
 定員になり次第、終了

【申込先】（独法）産業技術総合研究所ホームページ
<http://unit.aist.go.jp/ispd/ci/2012sympo/>

- プログラム -	
13:15～13:30	来賓挨拶 河村 延樹（経済産業省 大臣官房審議官）
13:30～14:00	挨拶講演「標準化・認証への戦略的取り組み」 野間口 有（産業技術総合研究所 理事長）
14:00～14:50	基調講演 「世界をリードしてきた光触媒における研究戦略とISO」 藤嶋 昭（東京理科大学 学長）
（休憩）	
15:10～17:20	パネル討論 「新技術の認証を視野に入れた標準化推進」

中小企業向け資金調達の指針「知ればナットク！」【金融庁】
～ 中小企業の資金調達に役立つ金融検査の知識 ～

円高や東日本大震災の影響など、中小企業者を取り巻く環境は依然として厳しく、金融機関からの資金調達の如何によっては経営状態が大きく左右される中小企業は少なくない。金融庁では、金融機関が企業への資金供給という役割を適切に果たしているか検証するための「金融検査」を行っており、中小企業向けに金融検査に関する小冊子を作成し、中小企業金融の円滑化に取り組んでいる。

○金融検査マニュアル別冊（中小企業融資編）

本マニュアルは、検査官が金融機関を検査する際の手引書であるが、借り手である中小企業にとっても金融機関との取引の際、参考となるマニュアルである。（中小企業が金融機関から高く評価されるためのヒントとなる。）
http://www.fsa.go.jp/manual/manualj/manual_yokin/bessatu/kensa01.html

○知ってナットク！

<http://www.fsa.go.jp/policy/chusho/nattoku.pdf>

○知ってナットク！（事例集）

http://www.fsa.go.jp/policy/chusho/nattoku_jirei.pdf



第50回素形材産業優良従業員表彰募集案内【一般財団法人 素形材センター】

一般財団法人素形材センターでは、素形材月間事業の一環として、毎年11月に「素形材産業優良従業員表彰」を実施している。本表彰制度は、素形材関係企業の従業員で、技術、技能、又は事務処理が優秀であって、素形材産業の発展、向上に寄与された方、省エネルギー、環境改善、品質・生産性向上などにより、社業の発展に貢献された方、あるいは勤続年数20年以上で業務に精励され、一般従業員の模範となっている方を対象に表彰する。[表彰式：平成24年11月2日(金) 於：東京・機械振興会館]
 受賞者推薦会社には、本表彰の経費として、受賞者1名につき50,000円を負担いただく。募集案内、申請書類等については、下記HP参照。

【詳細問い合わせ先】（一財）素形材センター ホームページ http://sokeizai.or.jp/japanese/topics/sokeizai_award2012.html

■ 当会の広報活動について

■ 各種展示会報告

彦根YEG 第2回わーくメッセ

開催期日：平成24年5月27日(日)
場 所：ひこね市文化プラザ
主 催：彦根商工会議所青年部

子供達が仕事体験を通して、楽しみながら社会のしくみを学んでいく「来場体験型ビジネスパーク」が5月に彦根市で開催された。体験ブースでは、介護体験や信用金庫の業務体験、豆腐やソーセージ造り、バトカー・白バイの試乗などもできる。

今回、展示ブースとして、パネルや実物の製品でバルブを紹介。子供達には「ばるちゃん」のシールやぬいぐるみが好評であった。



「風月堂」 滋賀県彦根市銀座町5-7
TEL:0749-22-0035 FAX:0749-24-0835

つくばエキスポセンターでJVMA 展示スペース設置

開催期日：平成24年6月1日(金)～9月2日(日)
場 所：つくばエキスポセンター

当会会員企業の㈱フジキンが「つくばエキスポセンター」内に同社の展示コーナーを持つことにあわせて、バルブ産業をPRする場として、当会の展示スペースを設置。バルブフォト五七五 入選作品の紹介やバルブの用途解説図、製品見本などを展示中。(当会HPでも紹介) <http://www.j-valve.or.jp/topics/120706.html>



～番外編～ 風月堂(彦根・和菓子店)のディスプレイ

「バルブもなか」でお馴染みの風月堂。お店を訪れた当会の会員企業の方々がバルブの製品見本や「ばるちゃんワッペン」を置いていくそう。さながら、「バルブのミニ展示会場」となっている。



← 「バルブもなか(105円/個)」のご注文は「風月堂」へ

■ 会員企業ピックアップ！

会員企業
トピックス！

■ 日本機械学会の「機械遺産」にTOTO(株)の「ウォシュレットG」

一般社団法人 日本機械学会では、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定している。

このほど、2012年度の「機械遺産」として、TOTO(株)の温水洗浄便座「ウォシュレットG」を含めた5件^(※)が選ばれ、8月7日の「機械の日」に認定証が授与される。

家庭で使用される機械が「機械遺産」として認定されたのは「ウォシュレットG」が初めて。

「ウォシュレットG」は、1980年に東陶機器(株)(現:TOTO(株))が発売した初代の温水洗浄便座で、「おしり洗浄」というそれまでになかった新しいトイレ習慣を提案した画期的な製品。現在では世帯普及率が70%を超えるまでに広く浸透している。



初代「ウォシュレットG」

(※)2012年度 日本機械学会「機械遺産」

- ・ステンレス鋼製車両群(東急5200系と7000系)
- ・吉野山ロープウェイ
- ・池貝工場製第1号旋盤(現存最古の動力旋盤)
- ・卓上複写機コピー101
- ・ウォシュレットG(温水洗浄便座)

【一般社団法人 日本機械学会「機械遺産」ホームページ】

<http://www.jsme.or.jp/kikaisan/index.html>

工業会活動報告 (平成24年5月～平成24年7月)

理事会

・第172回

24-05-15(火) 於:銀行倶楽部

出席者:40名

主要審議事項:

- (1) 第33回通常総会開催要領及び付議事項の事前審議について
- (2) 当工業会組織図及び3部会組織図及び事務局職務担当について
- (3) 若手社員研修会の開催について
- (4) 新技術研究開発テーマ募集(平成24年度)について
- (5) 会員の入会(正会員1社:株カクダイ)について
- (6) 「つくばエキスポセンターにおける当工業会展示」及び「ばるちゃんぬいぐるみ販売」について

・第173回

24-07-24(火) 於:機械振興会館

出席者:40名

主要審議事項:

- (1) 第33回通常総会収支報告
- (2) 第34回通常総会(H25.5.14)について
- (3) 60周年記念事業実行委員会設置について
- (4) 平成23年度バルブの生産額および輸出入額について
- (5) 平成24年度若手社員研修会について
- (6) 夏期節電対策について
- (7) 法人移行申請手続進捗状況について
特別会計 収支予算(案)について
公益目的支出計画の概要について
- (8) その他
「管工機材・総合設備展 愛知(2012.10.4～6)」出展概要について
バルブ製品 環境適合設計・環境アセスメントガイドラインとアセスメントツール - について
中国・鞍山先端バルブ産業地域について

幹部会

・第162回

24-07-02(月) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 第33回通常総会収支報告
- (2) 平成23年度バルブの生産額および輸出入額について
- (3) 第34回通常総会(平成25年5月)について
- (4) 60周年記念事業実行委員会の設置について
- (5) 中国・鞍山先端バルブ産業地域整備について
- (6) 60周年記念展示会についてのミーティング
(展示会タスクチーム(1名)、広報委(1名)と合同)

バルブ部会

幹事会

出席者:11名

24-07-27(金) 於:ホテルグランヴィア大阪

部会

出席者:19名

24-07-27(金) 於:ホテルグランヴィア大阪

主要審議事項:

- (1) バルブ産業ビジョン関連委員会の活動報告
- (2) 平成24年度若手社員研修会前期の報告と後期予定について
- (3) 平成24年度各分科会及びWGの活動報告

工業用分科会

電力弁G会議

24-05-10(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

24-07-05(木) 於:機械振興会館

出演者:8名

主要審議事項:

- (1) 経済産業省ヒアリング:今後の原発事業について
- (2) 半導体含む電力分野全体の今後の見通しについて

鋳鍛鋼弁G / ステンレス・ボール弁G合同会議

24-05-25(金) 於:新・鐵鋼会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 震災、原発事故、タイの洪水以降の各社の回復状況について
- (2) アジアを含む今後の海外市場の動向について

建築用分科会

24-05-24(木) 於:新・鐵鋼会館

出席者:9名

24-07-23(月) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 関西地区主要都市の建築計画の状況把握について
- (2) 大手設備工事企業の海外進出の状況把握について

船用弁分科会

24-04-20(金) 於:メルパルク OSAKA

出席者:5名

(1) 国内外の造船業界の状況について

(2) 船用弁のISO規格の進捗状況について

産業用弁分科会

彦根産業用弁G・彦根船用弁G・水道用弁G合同会議

24-05-09(水) 於:やす井

出席者:13名

24-05-25(金) 於:やす井

出席者:12名

24-07-31(火) 於:彦根支部会議室

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 各分科会活動報告
- (2) 情報交換

自動弁部会

幹事会

24-07-11(水) 於:ホテル日航大阪

出席者: 8名

主要審議事項:

部会審議事項の事前協議

部会

24-07-11(水) 於:ホテル日航大阪

出席者: 14名

主要審議議題

- (1) 平成24年度自動弁部会活動計画の進捗状況報告
- (2) 平成24年度若手社員研修会前期の報告と後期の予定について
- (3) バルブ産業ビジョン関連委員会の活動報告について

水栓部会

幹事会

24-07-10(火) 於:機械振興会館

出席者: 8名

部会審議事項について事前協議した。

部会

24-07-10(火) 於:機械振興会館

出席者: 26名

主要審議事項:

- (1) 新部会員紹介について
(株)カクダイ(平成24年6月1日付入会)
- (2) 幹事交替について
新: 栗野 秀広(株)KVK 取締役研究開発本部長
旧: 小川 隆(株)KVK 品質保証室長
- (3) 給水装置の水撃限界性能試験圧力測定器について
- (4) 中国市場視察(2012-5-23~26)報告
- (5) 平成24年度部会見学会開催について
- (6) 給水栓標準化小委員会審議報告
- (7) 止分水栓標準化小委員会審議報告
- (8) 保証小委員会審議報告
- (9) 技術小委員会審議報告
- (10) 節湯WG 審議報告

給水栓分科会

24-07-10(火) 於:機械振興会館

出席者: 15名

給水栓分科会関連事項について、協議した。

止分水栓分科会

24-07-10(火) 於:機械振興会館

出席者: 15名

止分水栓分科会関連事項について、協議した。

給水栓標準化小委員会

24-05-08(火) 於:機械振興会館

出席者: 14名

24-06-18(月) 於:機械振興会館

出席者: 10名

24-07-17(火) 於:機械振興会館

出席者: 15名

主要審議事項:

- (1) 日水協 WH 性能試験測定器 センサースペックについて
- (2) 構造材質基準見直しの法律改正対応について
- (3) JIS B 2061(給水栓)の改正について
- (4) 節湯 JIS 化について
- (5) POM 材について

止分水栓標準化小委員会

24-06-12(火) 於:機械振興会館

出席者: 8名

主要審議事項:

- (1) 関連 JWWA (B 107 水道用分水栓, B 108 水道用止水栓, B 117 水道用サドル付分水栓)見直しについて
- (2) 若手社員研修会について

保証小委員会

24-05-25(金) 於:機械振興会館

出席者: 8名

24-06-22(金) 於:LIXIL GINZA

出席者: 9名

主要審議事項:

- (1) 水栓金具に関する事故の現状と対応について
- (2) 今年度の活動テーマについて

技術小委員会

24-05-21(月) 於:機械振興会館

出席者: 10名

24-06-25(月) 於:TOTO 虎ノ門ビル

出席者: 11名

24-07-20(金) 於:TOTO 虎ノ門ビル

出席者: 14名

主要審議事項:

- (1) 新技術研究開発プロジェクトについて
- (2) 水栓に関連する国内・国外の動向調査について

節湯WG

24-05-09(水) 於:TOTO 虎ノ門ビル

出席者: 8名

24-06-19(火) 於:機械振興会館

出席者: 10名

主要審議事項:

- (1) 節湯型機器のJIS化について
- (2) 関係団体審議状況の報告及び対応について
- (3) 節湯C型について
- (4) 節湯効果の算出基準について

中国市場視察

24-05-23(水)~26(土) 中国・上海、蘇州

参加者: 15名

現地企業視察

- ・VESH(上海貝塑料有限公司:上海)
- ・King Clean(萊克電気股份有限公司:上海)
- ・カトーレック(加達利電子有限公司:蘇州)

第17回中国国際キッチン&バス設備展示会視察(上海)

ビジョン委員会

24-06-07(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) ビジョンアクションプラン進捗状況について
- (2) 情報共有推進チーム活動停止について
- (3) BCP推進セミナー開催について
- (4) 人材育成に関する会員ニーズの調査について
- (5) OB人材養成について

情報共有推進チーム

24-06-07(木) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 活動停止案の検討
- (2) 会員間における今後の情報共有推進に向けて

[BCP推進セミナー]

24-07-13(金) 於:機械振興会館

参加者:15名

(詳細、P.4「セミナー報告」参照)

広報委員会

24-06-18(月) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 委員長交替(平成24年5月15日付)
新:中川 哲(株)昭和パルプ製作所 代表取締役社長)
旧:矢島 荘衛(株)清水合金製作所 取締役会長)
- (2) 「ばるちゃん」ぬいぐるみ予約状況と会員向け周知の改善について
- (3) パルプフォト五七五コンテストについて
- (4) 展示会タスクチーム活動報告
- (5) つばエキスポセンターにおける当会展示について

パルプ展示会タスクチーム

24-05-14(月) 於:機械振興会館

出席者:6名

24-07-11(水) 於:機械振興会館

出席者:5名

主要審議事項:

- (1) リーダー交替(上記、広報委員会委員長交替に同じ)
- (2) ブース内放映用映像について
- (3) ノベルティグッズ等の検討
- (4) パネル制作について
- (5) つばエキスポセンターでの当会展示について
- (6) 60周年展示会開催準備会合報告

技術委員会

24-06-21(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 新技術研究プロジェクトについて
- (2) パルプ産業ビジョンアクションプランについて

- (3) 環境WGの審議状況について
- (4) 若手社員研修会について
- (5) 関連JISの進捗について
- (6) 技術研修会について
- (7) パルプ設計データブックについて

環境WG

24-06-14(木) 於:機械振興会館

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 環境アセスメントツールの実証について
- (2) 改正RoHS指令関係業界合同勉強会の報告
- (3) 水質汚濁防止法改正等に関する報告
- (4) 平成24年度後期におけるWGの活動について

国際委員会

[セミナー]

24-07-12(木) 於:機械振興会館

参加者:27名

(詳細、P.4「セミナー報告」参照)

パルプ技報編集委員会

24-07-05(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 通巻第69号特集企画について

調節弁規格作成委員会

調節弁規格作成委員会WG

24-06-05(火) 於:機械振興会館

出席者:6名

24-07-18(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2005-8-4 改正について

IEC委員会

24-06-05(火) 於:機械振興会館

出席者:6名

24-07-18(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

- (1) LOPs(List of Properties)の制定進捗について
- (2) 国際会議について

[説明会]

24-07-17(火) 於:機械振興会館

参加者:21名

(詳細、P.4「セミナー報告」参照)

ISO/TC153/SC1 国内対策委員会

24-06-04(月) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 各WG担当規格の進捗について
- (2) ISO/TC161との情報共有について

ISO/TC85 対策委員会

24-07-06(金) 於:住友化学夢科クラブ

出席者: 8名

主要審議事項:

- (1) ISO 4126 シリーズの JIS 化について
- (2) ISO 4126-10 JIS 化について
- (3) その他

ISO 4126-10 JIS 原案作成委員会

24-05-31(木) 於:機械振興会館

出席者: 25名

主要審議事項:

- (1) ISO 4126-10 JIS 和訳案の検討

給水栓 JIS 改正原案作成委員会

24-06-18(月) 於:機械振興会館

出席者: 26名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2061 改正原案の検討

フランジレスバルブ標準化委員会

委員会

24-07-12(木) 於:機械振興会館

出席者: 14名

主要審議事項:

- (1) 平成 23 年度調査研究成果報告
- (2) 平成 24 年度調査研究実施スケジュールについて
- (3) JIS 素案内容の検討

分科会

24-05-29(火) 於:機械振興会館

出席者: 12名

主要審議事項:

- (1) 平成 24 年度調査研究実施スケジュールについて
- (2) JIS 原案取りまとめ方針について



支部だより

支部総会

各支部において、次のとおり支部総会が開催された。

東京支部

24-05-15(火) 於:銀行倶楽部

出席者: 29名

東海支部

24-05-11(金) 於:岐阜グランドホテル

出席者: 13名

彦根支部

24-05-09(水) 於:やす井

出席者: 14名

近畿支部

24-05-10(木) 於:大阪新阪急ホテル

出席者: 21名

東京支部

役員会

24-05-15(火) 於:銀行倶楽部

出席者: 21名

主要審議事項:

- (1) 平成24年度東京支部総会開催要領及び付議事項の事前審議
- (2) 第33回通常総会開催要領及び付議事項の事前審議
- (3) 東京支部秋期会員総集会開催日および講演会講師について
- (4) 東京支部夏期研修会(施設見学会)について

24-07-24(火) 於:機械振興会館

出席者: 18名

主要審議事項:

- (1) 平成24年度東京支部総会収支報告
- (2) 平成25年度東京支部総会開催計画(案)について
- (3) 東京支部夏期研修会(見学会)および秋期会員総集会(講演会)について
- (4) 60周年記念事業実行委員会 支部代表委員選出について
- (5) 11月の東京支部役員会(開催地:九州)について
- (6) 東京都産業労働局からのお知らせ
平成 24 年度グループ戦略策定・展開支援事業
経営革新計画
東京都BCP策定支援事業

東海支部

懇親ゴルフ大会

24-07-25(水) 於:荘川高原カントリー倶楽部

参加者: 11名

優勝:北村 徳宏 氏 (株)キタムラフォーセット)

彦根支部

役員会

24-07-12(木) 於:彦根支部会議室

出席者: 5名

- (1) 3部会活動報告
- (2) 情報交換 その他

近畿支部

役員会

24-07-24(火) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 幹部会審議事項報告
- (2) 平成24年度支部定期総会収支報告
- (3) 秋季会員集会開催について
- (4) 平成25年新年互例会実施要領(案)について
- (5) その他
 - 次回近畿支部役員会(11/22)について
 - 平成25年度近畿支部総会について

会員の動向

会員の入会

(正会員)

- ・(株)カクダイ (平成24年6月1日付入会)
 - 本社所在地: 大阪市西区
 - 主要製造品目: 給排水栓類 給排水用資材、洗面/手洗用器
 - URL: <http://kakudai.jp>

社名変更

- 平成24年8月1日(予定)
 - 新社名: (株)水生活製作所
 - (旧社名: (株)早川バルブ製作所)

代表者変更(敬称略)

- ・ウツエバルブ(株)
 - 平成24年5月 代表取締役社長 清政 徳一
- ・廣瀬バルブ工業(株)
 - 平成24年5月 代表取締役社長 小野 慎一
- ・(株)スリーエス
 - 平成24年6月 代表取締役社長 吉田 秀樹
- ・旭有機材工業(株)
 - 平成24年6月 代表取締役社長執行役員 亀井 啓次

移 転

- ・ハンスグローエ ジャパン(株)
 - 新住所 (平成24年6月11日より)
 - 〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-4
 - 天王洲ファーストタワー2階
 - [営業] TEL:03-5715-3051 FAX:03-5715-3088
- ・アウマジャパン(株)
 - 新住所 (平成24年6月25日より)
 - 〒211-0016 神奈川県川崎市中原区市ノ坪199
 - TEL:044-863-8371 FAX:044-863-8372
- ・日本ドレッサー(株)
 - 新住所 (平成24年7月23日より)
 - 〒104-6023 東京都中央区晴海1-8-10
 - 晴海アイランドトリトンスクエア
 - オフィスタワーX棟23階
 - [営業部門(営業推進)] TEL:03-6871-9005
- ・(株)水生活製作所
 - (旧社名: (株)早川バルブ製作所)
 - 新住所 (平成24年8月1日より) 本社を高富工場に移転
 - 〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬94-2
 - TEL:0581-23-4132 FAX:0581-27-0532

お悔み

- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ・日本ビラー工業(株)
 - 相談役(前・代表取締役社長) 岩波 薫 殿
 - (平成24年6月12日ご逝去)

暑い日が続いておりますが、引き続き、「節電」へのご協力をお願いいたします。



「みんなの節電アイデア」(経済産業省HP)
<http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/idea2012.pdf>

平成24年7月31日発行 JVMA 通信No.5
 (発行元) **社団法人 日本バルブ工業会**
 TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335
 E-mail: info@j-valve.or.jp

